

18-26

2018年3月12日

車掌が iPad を活用したご案内を開始します

3月17日（土）千代田線から順次開始

東京メトロ（本社：東京都台東区 社長：山村 明義）では、列車内におけるお客様へのご案内の充実等を目的として2018年3月17日（土）より車掌が iPad を活用したご案内を開始いたします。

東京メトロではお客様ご案内のサービス品質向上、海外からのお客様への対応強化、社員間の迅速な情報共有を図るため、2010年よりサービスマネージャー、2015年より改札口や駅事務室において iPad を活用したご案内を行っています。

このたび、列車に乗務する車掌にも iPad を配布し、車内放送等に活用することで、更なるサービス品質の向上を図ります。

まずは、2018年3月17日（土）より千代田線の車掌に配布し、2018年度中に車掌が乗務する各線への導入完了を予定しています。

東京メトロでは、引き続きお客様サービスにつながる様々な場面で ICT を活用し、地下鉄をわかりやすく、快適にご利用いただける取組みを進めていきます。

車掌による iPad を活用した案内開始の概要は、別紙のとおりです。



iPad を活用したご案内のイメージ

「車掌による iPad を活用したご案内開始」詳細

1 目的

列車に乗務する車掌が iPad を携行することにより、お客様へのご案内内容の向上、訪日外国人へのご案内強化、各種マニュアル等の電子化を図ります。

2 導入時期

2018年3月17日（土）より千代田線から導入、2018年度中に車掌が乗務する各線への導入完了予定。

3 導入端末・台数

iPad mini 4・約400台

4 iPad に搭載する機能

(1) リアルタイムな運行情報の把握

東京メトロアプリ、関係鉄道各社のアプリ、運行情報メール等を活用し、列車の在線情報やリアルタイムな運行情報をいち早く把握します。

※関係鉄道各社のアプリは、東京メトロアプリ、JR東日本アプリ、小田急アプリ、東急線アプリ、京王アプリを設定しています。

(2) 訪日外国人への案内強化

輸送障害時に音声翻訳アプリ「VoiceTra（ボイストラ）」を活用した多言語への対応を行います。

※「VoiceTra」は、国立研究開発法人情報通信研究機構（NICT）が開発した旅行会話用の多言語音声翻訳アプリです。英語のほか、中国語、韓国語など31言語に対応しています。

(3) 点検マニュアル等の電子化

現在紙で携行している点検マニュアル等を電子化し閲覧することで、紙の使用量の削減を行います。

※iPadはApple Inc.の登録商標です。

※VoiceTraは国立研究開発法人情報通信研究機構の登録商標です。